第六百八十七號　（土曜日）　夕刊　いわき民報　昭和二十三年八月七日　昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）

いわき民報

平市田町四八　電三八番
編輯兼發行人　千輝克巳
兼印刷人
日刊　但月曜を除く
定價一ヶ月四十円
一部一円五十錢
發行所
いわき民報社

本社主催 文化祭の幕開く

先づけんらんたる日本畫と寫眞展に

傑作力作揃いに盛況を極む

本社主催綜合文化祭は今六日から幕開きとなつた、降り續く雨にたたられたが本社ホールでは日本畫展、常陽銀行ホールでは寫眞展が開催され引き續き八日まで開くが、初日から兩會場とも觀衆が押すな〳〵の盛況であつた

寫眞展 は全日本寫眞連盟が全國的に募集した入選力作品百三十數點が陳列され寫眞の最高藝術味を遺憾なく發揮、見る人の目に力強い印象を與え壓倒的人氣をよんでいる、一方

日本畫展 は地元七よう會同人の力作二十數點が搬入され何れ劣らぬけんらんたる點景を展開、日本畫特有の持味を發揮して觀衆を引きつけ文化祭にふさわしいものとして觀賞されている

興味そゝる珠算大會

特に參加申込あす正午迄受付

第一回珠算競技大會は本社主催、商工會議所、平商、商友會岬會後援のもとに七日午後一時から平商において開催されるが、參加申込は常磐炭鑛から六名、配電、配炭公團、日鐵常盤、平商校、大東無盡其他から多數あり、なお締切を延長して當日の正午まで受付ることになつたが、平地方の珠算選手權大會でもあり何人が選手權を握るか興味をそゝつて來た

中和通が

町内振興策に 平和會を

會長鈴木庫左右氏

平市中和通り商店街では町内振興策につきかねて協議中であつたがいよ〳〵纒まり商店十八軒を以つて平和會を組織し役員も左の如く決定活潑なる活動をすることになり、なお本社提唱の七夕祭にも參加することゝなつた

◇會長　鈴木庫左右◇副會長　加藤正保、茂木茂◇會計　佐藤徳二◇幹事　鈴木毅、小松敏雄

藥工品原料 用肥の割當

市藥工品原料稻藁肥料成分の補塡用肥料割當數量は左の如くこの程決定された

◇四月分一、〇九一貫◇五月分九、八九〇〇匁六月分四七五貫計二、五六四貫九〇〇匁

現品は既に地方事務所に到着している

湯本驛が納涼待合室を設置

湯本驛では旅客へのサービスとして夏季中驛前廣場に納涼待合室を新設、兩三日中に完成を見ることになつた

新市廳舍は六百坪に

工費は六百萬圓より增加の見込

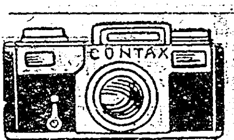
市公會堂を開放せよ、という市民の聲は久しいが、市の計畫も漸く具体化し昨報の如く五日の市會で二百七十万円の起債を決議する一方敷地を埋立て、資材蒐集に着手することになつた

市廳舍は二十二、三年繼續事業で建築することに昨年度の豫算に計上され起債の二百七十万円も許可になつていたが昨年度には着工出來ず、今年中に着工しないと起債も取消される心配があるので愈々工を起すことになつたものである

當初の計畫は敷地千五百坪を公會堂南側の田圃に選定、田町大通り元市役所の敷地（現テニスコート）と交換、これに二階建五百坪の廳舍を建てることになつているが、五百坪では狹いので六百坪に設計を變更することになつている

從つて工費の六百万円も相當增加する見込みで、財源を起債二百七十万円、寄附金百万円、一般會計二百二十五万円では追つかず、勢い寄附金の增額を見ることになろう

埋立費の六十六万円は失業救濟事業として消掃費で四十四万円補助を貰う豫定であるから市の負擔は二十二万円で濟むことになろう



現像・燒付
引伸
附屬品や修理
良心的の
茂木カメラ
平市平和通り

松尾アナを招いて

ノド自慢大會

あす小名濱町で開催

小名濱町役場、文協、警察署、日本水素などの肝入りで七日午前十一時と午後六時の二回第一小學校講堂で同町初の素人ノド自慢を行う、NHKから松尾アナ、平放送所寄田所長らが來町、審査する、入賞者には一等二千円、二等千円、三等五百円を贈るほか郡山放送局よりノド自慢放送も行う

石復から又々要望か

新規增員申請の取扱方につき

東部石復では全石復第三次要望の炭鑛勞働者增加制限及び配置轉換に關する措置に對する政府回答が左の如く六日あつたので、即時管内全炭鑛に通達するとゝもに同措置の第二項中にある「新規增員の申請」は所轄石炭局長の承認を受けることになつているが、局長が拒否する場合は炭鑛の實情を無視されない樣あくまで地當に諮る事を要望しているのに對して商工當局は依然勞資が認めた有能な民間人を石炭局長に任命している以上之に一任しても炭鑛の實情が無視されるおそれはないとの見解を固執しているので近くこれに對する要望書をまた〳〵提出の肚でいる

政府回答

（一）炭鑛勞働者數には長期休職者及未復員者をふくむ

（二）特殊技能者の判定に當つては「個々の炭鑛に於て石炭增産上必要缺くべからざる技能者」と認められる者を意味するが之が認定は石炭局長が行う（第二項）については前回の回答通り

（三）六對四の比率を機械的に各炭鑛に適用することで適當でないことは當方としても諒承しているが一般原則として少くとも六對四以上であることを目標としたい尚配置轉換についての手續は勞資間で適當に定められたい、附帶事項による炭鑛勞働者の配置轉換の困難なことは認めるが未だ方針を定めていない

八月分配炭計畫成る

前月に較べて三萬六千トン減

配炭公團常磐支團八月分の各産業別配炭計畫は左の通りで合計二十五万トン前月の二十一万三千五百五十トンに比し三万六千四百五十トンの減となつている、なお内譯は左の通り（單位トン）

山炭一四、〇〇〇、進駐軍關係二〇、〇六四、官公衙一一、七三〇、紡績一四、〇七四、硫安六、四二三、その他化學一〇、七〇五、ゴム金屬八、二二四、紙パルプ五、六五〇、食料一七、三〇七、窯業五、九六一、セメント七、五〇五、造船造機七、五七二、鐵鋼二六、五八八

一世帶三百六十圓也

鈴木市長が貯金寄附金提案

五日の市會終了後鈴木市長から「これは東北六縣は勿論福島縣内にも例を見ない」という前提のもとに、全市一世帶一日一円宛の貯金問題が提案された

市長說明 インフレ防止と起債の見返りに全市一世帶「一日一円ずつ貯金すること」を奬勵したい、この貯金は自治精神に徹し公共用施設費に充當する、貯金の方法は各區の世話にお願いして集金する

という說明で全國的にも例を見ない名案だというのだが「貯金の期間を五年にするか三年にするか」との質問に對し鈴木市長は「五年とか三年とか期間を定めて拂戻すことになると大變な金額になるからとても返せない、期間を定めないで貯金して貰いたいと思う」と無期限、貯金は仕放しといふ如何にも名案であるが、「それでは何年もタダで貯金することになり、寄附するようなものだから市民は應じまい吾々も區民に說明することが出來ない」と異論があり「どうせ拂戻さない貯金なら寄附としてはどうか」という意見に依つて市長も前言を代へ結局

期間を一ヶ年とし、市廳舍建築費として一世帶一日一円宛三百六十五円寄附して貰う」

ということに落ついた、集金方法その他一切の事務的關係は市當局に於て立案することになつた

×　×

平市の現在戸數は約六千五百戸で、一世帶三百六十五円寄附するとせば一ヶ年に二百四十万円の寄附貯きんが出來る勘定だが、資産の甲乙なく一率に一世帶三百六十五円というところに相當の難點があり全戸別に毎日一円宛の集金を誰がするか、區内世話人も毎日となつては容易な仕事でないから此處にも困難が横つている

江名の殺人

恨か物盜りか

タンスから失れた女衣數點

【昨報】江名町上神白字西大澤無職西袋捨藏さん（六六）殺害事件は五日縣刑事課から草野、平間兩警部補、鑑識課から伊東警部補、片平部長平地檢から國分檢事、猪狩判事等が急行檢視六日朝八時平市松尾博士の手で現場で解剖に付したが、その後の調査でタンスから女物キンシヤ袷三枚と浴衣一枚失れていることが判つた、然し四圍の狀況、江名郵便局交換手をつとめる娘タイさん（二六）の月給袋が五、七月分とも手をつけずに戸棚の中にある點からみて、物盜りの兇行ともみられず、兇行後物盜りとみせるため衣類を奪つたともみられ、指紋その他も明かでなくたゞ家の入口の土間に白の碁石一個が謎の如く落ちているばかりで何等の手がかりもなく未だに怨恨か物盜りかも判然しない

先づ右耳上に一撃加う

後頭部陷沒二ヶ所

兇行は四日夜十一時頃行われたものらしく捨藏さんが寢ている蚊帳をまくつて中に入り先づ鳶鍬の峰で右耳上のコメカミを一撃ウンとばかりうめいて捨藏さんが苦しさに兩手で頭を蔽いうつぶせとなつたところを後頭部狙つて一撃、二撃加えたもので後頭部の骨二ヶ所が陷沒している

謎の布團

何人が泊つたか

なお全夜は娘タイ子さんは夜勤で一人寢なのに、捨藏さんの隣りにも一枚布團が敷いてあるところからみて何人かが泊つた樣子もみえるので目下泊り込んでの兇行かと捨藏さん古家の關係方面をも調べを進めている

娘と二人暮

娘の給料が命の綱

被害者捨藏さんは東京都向島隅田町で屋台ソバ屋をやり家では子供相手のお好み燒や三文商いをしていたが、戰爭で商賣も出來なくなり、一家あげて去る十九年秋親戚を頼つて江名に疎開したが、二十一年四月妻トシさん（當時五十三歳）が病歿後娘タイさんと二人でさびしくタイさんの給料千三百円を唯一の命の綱としその他野菜を作り自給していたものであり、交際も余りなかつた

山中の一軒家

現場は舊鹿島街道トンネル入口で四方小山に圍まれた山家の一軒家で、從つて電燈等はもちろんなく、豆ランプで不自由を忍んでいる生活で人通りもほとんどない寂しいところである

大東鑛支部組合調査

茨城縣知事からも審査要請

茨城地區大東炭鑛の紛爭問題は縣石炭特別勞働委員會が積極的に調査斡旋にのり出すことになつていたところ、茨城縣勞働委員會でもこと重要問題とし實情調査中であつたが五日定例委員會を開き同問題は勞働組合法第十一條並に第二條のどちらかに該當しているものであるとし第二條による組合の資格審査によつて解決のカギが握られるが委員會では大東勞組の實体は調査濟なので大東支部組合の實体調査を實施することになり十一日委員會を開く、なお茨城縣知事から組合資格審査の要請があつた

難航を豫想

石炭管理委員會で
あす出炭計畫割當

平地方石炭管理委員會は七日午前十時半から非公開で第三四期出炭計畫による各炭鑛出炭割當を審議するが難航を豫想されている

青年服毒自殺

五日正午頃植田町字上月鮫川ほとりの芋畠に年齢二十二、三才位の青年が服毒自殺しているのを發見した、死後三日程を經ており身元不明で所持品は現金五十円布財布、煙草ケース青酸加里ビンがあつた

いわき寸言

◆澤庵の不動智神妙錄に曰く食物をよく說くともひだるき事は直り申さず候と

◆掛聲ばかりで與えぬ政府や事業家によく覺えて置いて貰いたいネ

◆たゞかほう事のみが情にあらず非を叱するもまた情と知るべし

即金
衣類一般　御買受
御處分品の御相談は必ず弊店へ……
平銀座ヨコ紅小路
（梅ノ湯横通）電96番
誠實上値の買受店　大崎屋

機械工具
ドリル　タップ
ダイス　スパナ
類他各種工具
水道用鉛管入荷
平驛前通白銀町15
高平商會

家具ト漆器、佛具特賣
特賣期間（八月七日ヨリ八月十五日マデ）十日間
御位牌御用命ハゼヒ當店へ……
早目ニ御下命下サイ
家具　漆器　雜貨　佛具　御商
平市新川町　伊東家具店（電話四六四番）
家具製作工場平市大町

名匠デイヴイヴエ演出
「望郷」のジャンギャバンと「カルメン」のヴイヴイアンヌロマンスが描く五人の仲間の運命
フランスアリス社大作
我等の仲間
只今上映中六日—九日まで
内郷　第二イワキ　電話十二番

壯快な地曳網
捕魚　スズキ、ウグエ、ボラ、ウナギ
△食料其の他御持參
△御申込みは、二、三日前に……
◉植田驛前案内所若松屋旅館　電五三番
◉驛より二十丁、植田町海岸
鮫川誇揚會

中古衣類破格販賣
販賣品目
御婚禮江戸褄
モーニング
高級衣裳
その他
お求の際は是非一度御相談下さい
▽盛夏單衣若柄在庫豐富△
中古衣類問屋　中央會館
平市田町（平館隣り）電九一一五

不成績な所得豫定申告
無申告には九月中に更正決定

所得税の豫定申告は去月末日で締切られたが、初の豫定申告なのでその成績はどうか、平税務署の調べに依ると納税額をつけた申告は一万四千六十五世帯、額のつけてない申告が六千五百三十七世帯であった、郡下の總世帯數概算六万世帯からみると僅かに三割四分にしか當っていない低調さであるが、無申告者に對しては九月早々に更正決定を行う計畫で着々準備を急いでいる、なお農業、蠶業、漁業その他營業申告には期待倍數（昭和二十二年分更正決定額に對する一定割合）を發表されたが、これに準據しないものが多かったので、これらに對しては一應その倍數で更正決定を行うこととなった

更正決定には加算税を
平税務署から警告

右について平税務署では語る　申告用紙は全世帯に配布したので少くとも半數の三万世帯は申告されるものとみたが、余り少いので驚いた　無申告や期待倍數以下の申告には遠慮なく更正決定を行う、この場合は加算税（一日歩十錢）追徴税等の罰則が課せられることになるから、この際無申告者は至急申告されたい、あとになって慌てて訂正等を申込んでも絶對に受付けない方針である

差押の大部分が電話
平税務署で十三日入札競賣に

平税務署では差押え物品の入札競賣を十三日午前九時から同署で行う、今回の分は電話が多く財産税、法人税、戰時補償特別税などで會社、商店運送業、電氣修理業、漁業家などである競賣物件次の通り

【平】電話七六八、一〇一五、四五五、三八九、七七四、九〇六、一七九、六六〇、三〇七二番【江名】電話二一〇、二三〇二、六一番【勿來】電話二二番、ミシン一台洋服ダンス二掉【植田】電話二二番

頭の良い日雇夫三人組
平職安所に描く朗かな求職全景
山崎係員の説得奏効
巧みに勞基法の適用を利用

深刻になって來た就職難を尻目に、平公共職業安定所窓口を最有効に活用して働口の心配もなく毎日せっせと次から次へ働き廻っている日雇雑役夫三人組がおり關係者を微笑させている―同安定所の最近の窓口は求人者側が日雇雑役夫と農夫が多いのに對し求職者は會社員や炭鑛勞務者を希望する者が多く食違いを示している、日雇雑役夫の求人者の顔ぶれを見ると土建業、一般會社、中小工場でこれらの雑役夫を正式に雇入れると勞働基準法が適用され取扱が難かしくなるので事業者側は便宜上の戰術として日雇人を雇入れる方法を考出していた、このため將來性のない日雇を嫌う求職者たちは『職がない』と締出しを食った形にヤミ屋へ走ったり正常の勤勞先を得ることもなく苦しんでる、この有様に氣付いた市内居住のA（四三）B（三八）C（四〇）の三人はそれぞれ同所窓口係山崎運次氏にいつまでもぶらぶらしていては家族を持っての生活が困難になる一方だから雑役夫として働きぬく考はないか、次の働口は[illegible]持って私がお世話するとさとされ眞面目に日雇業として働いて見ようと決心、日給平均百三十円の雑役業を始めたのが昨年暮であった、最初はどんなものかと山崎氏も不安顔だったが回を重ねる度びに益々親密の度を加えて來たのに大喜び、今では山崎さん以外の所員にはお話を打あけず山崎さんとは親子關係も同然になった、然し困ったことに出張など山崎さんが留守になるとそのまま消然と出て行って仕舞うのに他の所員も「一寸困るね」とその事情を話して山崎さんが次の職場として××工場へ行くようにして置いたことを告げる程に今では山崎氏の得意先として所内に評判になっている、同所では「このように氣樂に窓口を利用して欲しい、當所は責任を持ってどなたにも斡旋します」と宣傳につとめている

日雇業の良い手本
山崎係員の談

人の善さそうな顔をほころばせて當山崎運次氏は語る―この三人は全然關係のない人達でお互に知らない、昨年暮ごろからやって來たのでお世話している、今では次の職場を探して置かぬと失望するので責任を感じこれだけは確保してやる、日雇業でも眞面目にやればこの三人のように生活には心配なく暮せる、今にして見れば決心を促したことがよかったと思う、今後もますます紹介技術を研究し多くの人から喜んで頂くよう勉強したい、職業をケイベツしている人がいま失業で苦しんでいる

目標を遥かに突破
七月の郡下木炭生産成績調べ

郡内の七月木炭生産高は目標二一三、〇〇〇キロ（一万四千二百俵）に對し一三〇、三%の二七七、五六〇キロ（一万八千五百四俵）の實績という好成績をあげた、なお四月から七月までの四ケ月間の生産實績は二、四五六、八八〇キロ（十六万三千七百九十二俵）で目標二、四〇九、〇〇〇キロ（十六万六百俵）に對し九九、九パーセントで好調だが近頃の物價高による生活費の高騰で、野菜耕作とか新供出では値段も低く生計を賄い得ないところから値上がりを見込んで木炭生産に力を入れたのが急ピッチで成績の向上を示めした原因となっている

市の公民圖書室
本中月に開設
先づ39雑誌備えて

平市では圖書購入費三万円設備費二万円の豫算を以って公會堂二階圖書室に公民館圖書室を作るべく計畫中だったがいよいよ出來上り次第今月中に開設することとなった、當初は豫算の關係で次の三十九種目の雑誌を備えつけることにし順次一般市民より寄附を募って整備する、同圖書室は入場無料で女子係員一名を常置し市教育課が主体となって當分は閲覧の指導に當る豫定になっている

改造、世界、中央公論、主婦之友、ロマンス、苦樂、小説新潮、リーダーズダイジェスト、カトリックダイジェスト、女性改造、婦人世界、少年クラブ、少女クラブ、ひまわり、小説と讀物、キング、シネロマンス、キネマ旬報、映畫物語、野球界、生活文化、商業之日本、商店界、新潮、人間、文藝春秋、法律時報、勞働評論、理論、科學朝日、無線と實驗、ポピュラーサイエンス、機械工の友、寫眞時代、ユースコンパニオン、時事英語研究、農業世界、農業朝日

小名濱觀世流合同素謠會
八日正午から開催
招き師匠岡家宗家

小名濱町觀世流合同素謠會は宗家岡久雄氏を招いて八日（日）正午から小名濱消防團第四區々會堂樓上で開催する、參加團体は小名濱觀世會、白水素謠曲部、石城郡岡謠會その他有志で、番組は次の通りなお岡久雄氏の仕舞屋島が岡謠會とともに番外としてその神技も公開するので同好の士の多數參加を望んでいる

◇素謠　加茂（小名濱）俊寛（岡謠會）屋島（水素）羽衣（水素）大佛供養（小名濱）舟辨慶（仝）富士太鼓（岡謠會）鵜飼（仝）安達原（水素）

◇仕舞、藤戸（白井）實盛（北村）天子（森谷女）里の段（田子初女）羽衣（舘女）班女（櫛田女）松風（橋本女）菊慈童（橋本京女）蟬丸（田子女）

眞空管と部品の卸
上原時計店
平驛前平五軒町　電22

城東文化會
樂しいお話の夕べを
罹災の生徒たちの良い伴侶に

市内仲間町城東文化會では七日から三日間平第一中學校講堂に毎夜七時から「樂しいお話の夕」を催し町内中學生以上の入場に映畫と原子顯微鏡のお話や音樂會、紙芝居等を行い罹災生徒達のよい伴侶として善導する

勞務配給は一本建に
二日から勞基監督所で

從來二本建であった勞務用物資並に加配米申請は、今度勞務者報告書の一本で双方に活用され又これが取扱い配給物資協議會の手から勞働基準監督所の手に移った、同時に農家の子弟で保有米を有しているものでも受配を得ていたが、今後は除外されることになった

四ツ波の林地
復舊工事進む
雑工の豫備地内の
水害林地復舊工事

縣營荒廢林地復舊工事平臨時出張所では去る四月來工費四十万円で市内四ツ波飯ノ岡地内に於ける水害荒廢林地復舊工事に着工中だったがいよいよ九月末までには完工をみることになった又同地内の平鱗から中鱗へ中鱗から石森山に至る觀光道路としての林道も本年末までには完成の豫定だ

定品檢一級
サトウ電球
平硝子製作所
本社　平市田町二六
電話五五七一・七六五番

性病豫防期しての
強制檢診撤廢
平保健所徹底に腐心

忌しい性病の撲滅を期する上から從來藝妓その他接客婦に對しては月一回定期及臨時強制檢診を實施して來たが、強制檢診は業者の或種の行爲を是認、暗々裡に認めてその行爲の裏づけをなすものであり又男女同權とか民主的の立場からもおもしろくないとあ[illegible]後は強制でなく業者の自發的意志に基いて行い一般檢診同様にし、全面的に生活保護法による檢診として其實を擧げることになった、從って一歩誤ると撲滅どころか蔓延せしめることにもなるので、平保健所では一層豫防思想の普及徹底により受診を恥ぢぬように仕向けるとともに患者の接觸者調査を嚴にし、併せて一般開業醫、性病指定醫其他との連絡を密にして万全を期することになった

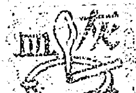
訂正　郡衣料品小賣店舗再登錄資格審査會にパスした立候補店の發表のうち赤井村岡崎屋が洩れていたので追加します

老大工の縊死

江名町片浦二一植野平治（五六）さんは四日夜自宅二階座敷で短刀を以って割腹自殺を遂げた、原因は生活苦らしく小心者であった

山の生活學校
湯本中寺コドモ會が

湯本町中の寺こども會では九、十の二日間山の生活學校を赤井嶽に開く、申込者は八日正午まで會費は中學生五十円、小學生十円



◇五日のこと、地方事務所に元好間第一小學校長だった吉田庄太郎氏への勳記が舞込んだ、それには日本國天皇は吉田庄太郎を勳六等に叙し瑞寶章を授與する、昭和十五年十二月十三日宮中に於て璽を捺させる又賞勳局瀬古保次總裁の名で[illegible]第百七十一万九千六百二十一號として勳等簿冊に記入するとある

◇[illegible]あの忌しい戰争の勳の一年前のもの、それが敗戰という惨めな結果で終了して四年になる今日傳達されて來るとは、流石スローモーの役人も目をパチクリの態

◇おまけに吉田氏の現在所が明かでないので舞込んだ以上一應令氏に傳達せねばならず「とんだ手數のかかるものですよ」とここでも目を白黒しながら荷厄介もの扱い……

郡青年野球
八日四倉小學校で

石城郡下青年團野球大會は八日午前八時から四倉小學校で擧行するが組合せは左の通り
◇一大野對四倉、神谷對夏井、上遠野對高久、草野對大浦

精神科　内科
平市[illegible]
新[illegible]醫院
電15

いわき民報　有名商店案内

サンダルで足はさわやかに！
ヌカタ靴店
平市銀座五七

買受專門
衣類、洋服、貴金屬
蓄音器時計高級家具その他
平市大町通り
鈴木商會

機械と工具
電導裝置一般
平市四マルトモビル
佐藤鐵工販賣部
電七三一・本社三六二

社交に家庭に
ハート美人
（絶体安全）
"産制と豫防"
各藥局にあり

ベアリングとスチールボール
平興業社
平市南町六七　[illegible]前通り

タイプ　計算器
販賣　修理
平田町五五電二〇四
榮タイプ商會

内科　小兒科　外科
（入院室完備）
若松醫院
平市大町一三　電五〇五番

肖像畫の御註文は作家直接に限る何故か？
外交員からの御註文は作家に責任がなくそれ故に良心的な作品が出來ない
我等作家は進んだ揮毫方で金の慾より揮毫慾に接して居る事を御理解下さい
菊水肖像畫院
平市[illegible]四　電九八九番

電話番號變更御知らせ
耳鼻咽喉科
大和田病院
舊の一七〇番を復活しました
平市南町十六番地

香料と色素入荷
アイスキャンデー、氷水用
目下大賣出し
東北國屋商店平出張所
東京屋
平驛前大通いわき民報隣

開店お知らせ
賣って喜び買って喜ぶの主義で
ラジオ、電蓄專門に勉強
木田無線電業所
市内南町七一（平郵裏）

各種ミシンの販賣と修理
平和通り
三浦商會ミシン部
電八[illegible]番

新築移轉お知らせ
新　湯本町磯町常陽銀行湯本支店隣
舊　同町裏町
右の通り新築移轉致しました何卒よろしくお引立の程願ひ上げます
御婚禮着付一式
日本髪美顏術
草野パーマネント
草野セン